

成果指標設定調書

【成果指標の設定】成果指標設定年度 平成30年度

市町村名	志木市		
提案事業名	市民力による志木駅東口周辺のにぎわい創出事業		
事業期間	平成31 年度	～	平成31 年度
事業の必要性、目的	志木市の玄関口である志木駅東口周辺地域の価値向上と持続可能な活力あるまちづくりを推進するため、地域住民、事業者、関係機関その他の志木駅東口周辺に関わる者との間で設置した志木駅東口周辺にぎわいづくり協議会の活動を支援し、自走するまちづくりに向けた仕組みづくりに取り組む。		
成 果 指 標	(成果を検証する指標) 社会実験の参加者数(1回あたり100人、回数は5回)		
	(成果検証の具体的な方法) 「社会実験の参加者数」により成果指標の達成度を検証		
	(上記の指標を設定した理由) 本事業は、魅力の創造及び発信を行うことにより新たな人の流れを創出し、にぎわいづくりに寄与することを主たる目的としていることから、達成度を図る指標として、「社会実験の参加者数」が最も妥当な指標であると判断したため。		
	(成果の目標値)		
	現状値 (31年1月現在)	0	目標値 (32年3月時点) 500
	(施設建設等の場合)		
	年間利用者数(目標)(人)	500	稼働率(目標)(%)
住民への公表方法 及び特記事項			

【成果指標と構成事業の関連性】

平成31年度 構成事業

構成事業名		概要・成果指標との関連性	事業費(千円)
①	間接補	志木駅東口のにぎわいづくりに主体的に関わる市民を育成し、にぎわいづくりを推進するために、ワークショップを実施し、ワークショップから誕生したグループによるペDESTリアンデッキの電気設備(分電盤)を活用した社会実験を実施する。	1,496
②	ハード	志木駅東口ペDESTリアンデッキで行う予定のイベント等の事業用電源として、志木駅東口駅前の電源設備から分岐してペDESTリアンデッキ上に分電盤を制作し設置する。	4,000
③	ハード ソフト 間接補		
④	ハード ソフト 間接補		
⑤	ハード ソフト 間接補		
⑥	ハード ソフト 間接補		
合計			5,496

【成果指標の達成見込み】

目標達成のための 具体的な方策	広報紙やホームページなど広報媒体を活用した情報発信と、志木駅東口周辺にぎわいづくり協議会など関係機関と連携を図りながら効果的に実施していく。
成果指標の達成見込み	上記方策により、指標を十分達成できると考える。

(記入上の注意)

【成果指標の設定】

・住民への公表方法は具体的に記述すること

【成果指標と構成事業の関連性】

・提案事業を構成する各事業(構成事業)について次のとおり分類すること

「ハード」 施設建設等が中心の事業(ハード事業)。

「ソフト」 主に人的要素を活用した活動でハード事業以外の事業(ソフト事業)。

「間接補」 青年会議所、商工会議所・商工会、自治会、NPO等の公共的団体が実施する事業
に対して市町村が補助金を交付するもの(間接補助事業)。

・事業費は補助金を要望する単年度の事業費のみ記入すること。また、間接補助事業の場合には、
事業費の下に()書きで、市町村の負担額又は補助額を記入すること。